

# 製品、サービスPR

岡山

## しんきん合同 ビジネス交流会 498社・団体が出展

岡山

岡山県内の8信用金庫と産業支援団体など展企業同士でも活発「わかかな」(岡山県鏡野町)の大塚嘉之社長が連携して、中小企業な情報交換が行われ、野町の地元の果物を使った「しんきん合同ビジネス交流会」が10日、岡山市北区大内田のコンベックス岡山で開かれた。県内を中心に498社・団体が「ものづくり」「エコビジネス」など18分野で出展。製品、サービスを小売業者らに売り込んだ。

して、新商品のヒントを得たい」と話していた。ビジネスコンテストもあり、出展企業の製品・サービスの独自性や収益性などを審査。最優秀賞に食品検査用コンベヤーを設計製造するサムテック・イノベーションズ(津山市)を選んだ。優秀賞は介護現場向けの体調記録システムを開発したクリエ・ココ(岡山市)と、自費出版サービスを行う日宝綜合製本(同)。

交流会は、8信用金庫産業振興財団、中小企業基盤整備機構中国本部、日本政策金融公庫岡山支店、信金中央金庫岡山支店をつくる実行委員会の主催で毎年開いており、10回目。(太田孝一)



センミルキー街

段ボール箱をつなげて迷路が作れる製品を展示した大江紙器(同市)の大江泰幸社長は「子ども向けのイベント用や施設の遊具として売り込み、新たな需要を掘り起こしたい」とアピール。

チョコレートなどを売り込んだ菓子メーカーのブース

会場ではバイヤーと

のブース